

令和8年2月27日

報道各位

全国農業協同組合連合会岡山県本部

## 2品種が「特A」取得の快挙！ 岡山県産「きぬむすめ」「にこまる（県南）」が食味ランキングで最高評価！

令和8年2月27日に（一財）日本穀物検定協会が発表した「米の食味ランキング（令和7年産米）」において、岡山県産「きぬむすめ」と「にこまる（県南）」が最高評価である「特A」に選ばれました。

岡山県産「きぬむすめ」は28年産米から10年連続の特A獲得、「にこまる（県南）」は令和5年産米以来、2年ぶり3回目の「特A」獲得となります。

JAグループ岡山では、今回の受賞を励みに、岡山県産「きぬむすめ」と「にこまる」の生産拡大と消費拡大に引き続き取り組んでまいります。

### ■ 「きぬむすめ」とは・・・

「きぬむすめ」は「キヌヒカリ」を母、「祭り晴」を父として育成されたお米で、絹のように白くて美しく粘りの強いお米として高い食味評価を受けています。

岡山県では、平成26年産米から県の奨励品種に選定され、令和7年産米では5,500haで栽培されました。（令和6年産米：4,890ha 6年産対比：112%）

奨励品種採用以降、生産者と関係機関が連携し、良質米生産に向けた「土づくり」「施肥体系」などの試験を重ねてきました。また、JAグループ岡山が推進する、牡蠣殻を活用した「瀬戸内かきがらアグリ」による土壌改良の成果もあり、県産米全体の品質向上に寄与しています。これらの取り組みが実を結び、10年連続の特A取得につながりました。

### ■ 「にこまる」とは・・・

「にこまる」は粒がふっくらとしていて粘りが強く光沢があり、「食べるとおいしくて笑顔がこぼれる」ことから「にこまる」と名付けられたお米です。

高温耐性品種として県南部地帯での生産拡大をすすめており、令和7年10月に岡山県の新たな奨励品種として選定され、県内での採種体制も進めています。令和7年産米では2,000haで栽培されました（令和6年産米：1,830ha 6年産対比：109%）。

安定した品質が望めることより、家庭用米はもちろん、業務用米としての評価も高く、大手実需者から生産拡大の要望が寄せられています。

（お問い合わせ先）

全国農業協同組合連合会岡山県本部 農産・園芸部 農産課  
担当：宰務（さいむ）TEL：086-234-6876